

志 苑

滋賀県総合教育センター所報
〒520-2321 滋賀県野洲市北桜
TEL 077-588-2311 (代表)
FAX 077-586-0011



教員にも探究的な学びを

次長 大林 義宜

本所報では「教員の学び」について取り上げ、まず「なぜ教員は学び続けなければならないのか」という問いを立てて、考えていきたいと思えます。教育基本法第9条に「教員の不断の研究と修養の必要性」が定められており、「児童生徒を教える立場にあるのだから教員が学び続けるのは当然である。」と答えられる方が多いのではないのでしょうか。それでも、あえて自明の理と考えられる「教員の学びの必要性」について探究していきたいと思えます。

令和3年1月26日に中央教育審議会から出された答申では、「教師が技術の発達や新たなニーズなど学校教育を取り巻く環境の変化を前向きに受け止め、教職生涯を通じて探究心を持ちつつ自律的かつ継続的に新しい知識・技能を学び続け、子供一人一人の学びを最大限に引き出す教師としての役割を果たしている」と、2020年代を通じて実現すべき「令和の日本型学校教育」を担う教員の姿が想定されています。教員自身も自律的・継続的に学ぶ必要があると指摘されていますが、「どのような方向で学んでいけばよいのか」という疑問が湧いてきます。

そこで、先述の令和3年の答申を受けて令和4年12月19日に中央教育審議会から出された答申を見ると、「個別最適な学び、協働的な学びの充実を通じて、主体的・対話的で深い学びを実現することは、児童生徒の学びのみならず、教師の学びにも求められる命題である。つまり、教師の学びの姿も、子供たちの学びの相似形であるといえる。主体的に学び続ける教師の姿は、児童生徒にとっても重要なロールモデルである」と、「新たな教師の学びの姿」の方向性が示されています。即ち、子どもと同様に教員も「主体的・対話的で深い学び」が求められています。それでは、どのようにすればそのような学びが実現するのでしょうか。

手がかりを得るために、子どもの学びについて見ていきます。現行の学習指導要領解説（総則編）には、「主体

的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の視点の中で、「自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる」や、「習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた『見方・考え方』を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだし解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりする」等の活動が示されています。また、現行の高等学校学習指導要領解説（総合的な探究の時間編）には、「探究とは、物事の本質を自己との関わりで探り見極めようとする一連の営みのことである」とあり、探究の過程として「課題の設定」・「情報の収集」・「整理・分析」・「まとめ・表現」が挙げられています。以上のように、「探究的な学び」は「主体的・対話的な学び」につながると考えられます。先述の令和4年の答申の中では、子どもの学びと同様に、教員の「探究的な学び」の必要性についても提言されています。

そこで、当センターでは、教員の「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、探究型研修を次年度の研修の一部に取り入れていきます。先生方には、自分の新たな課題（問い）を設定し、解決に向けて「わくわく」や「もやもや」しながら思考を続け、自分や他者との対話を通して自分の在り方を振り返り、豊かな気づきをしていただきたいと考えています。センターは伴走者として教員の探究的な学びを全力で支援します。アメリカの哲学者・教育学者のジョン・デューイの言葉に「教育の目的は、各人が自己の教育を継続できるようにすることである」があります。自分でおこした炭火がじりじりと燃え続けるように、先生方が子どもたちのために主体的に学び続けられることを願っています。

※下線部は筆者

お知らせ ～教職員のサポート機能をぜひ御活用ください～

特別支援教育相談について

幼児・児童・生徒の発達や行動、学習、集団生活への適応などに関する相談に、専門の相談員が具体的な支援内容等を一緒に考えます。

また、特別支援学級の担任や通級による指導の担当者等の授業づくりや個別ケースの指導・支援に関する相談に応じます。



- 連絡先…TEL 077-588-2505（教育相談専用）
- 対象…本人（幼児・児童・生徒）、保護者、教職員等
- 方法…来所による相談、電話による相談
- 相談日…月～金曜日（祝日、年末年始等を除く）
- 相談時間…9:00～12:30、13:30～16:30

「教育学習情報」について

総合教育センターのホームページにある「教育学習情報」では、今までにセンターで取り組んだ研究の情報だけでなく、各校からお寄せいただいた研究紀要など、貴重な資料が満載です。一度、御覧ください。

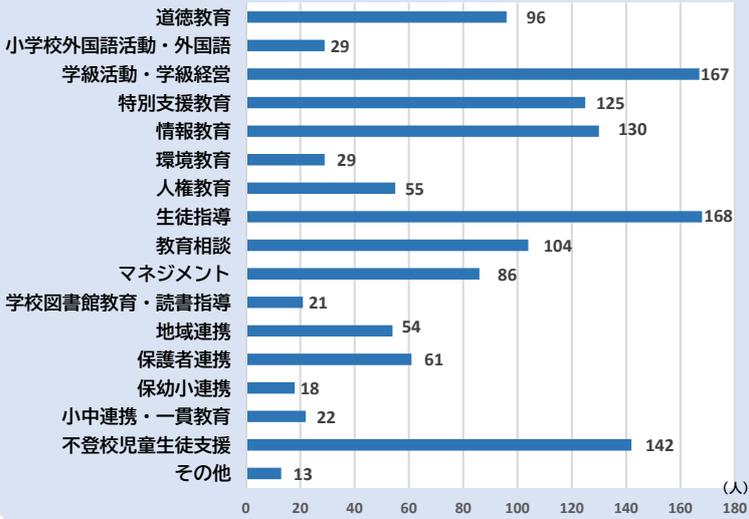
図書資料室より

新館2階図書資料室では、最新の教育関係の書籍や資料を閲覧したり、借りたりすることができます。令和6年4月から12月まで、526冊の貸出がありました。返却は正面玄関横「図書・資料返却用ポスト」を御利用いただけます。

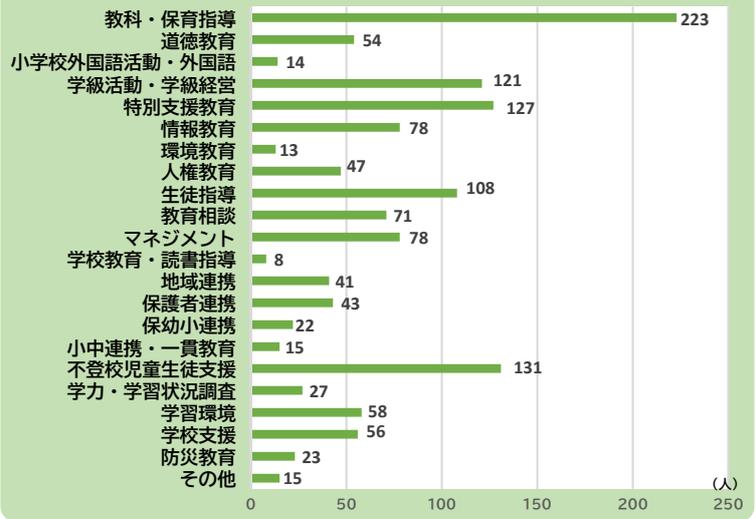


「図書・資料返却用ポスト」

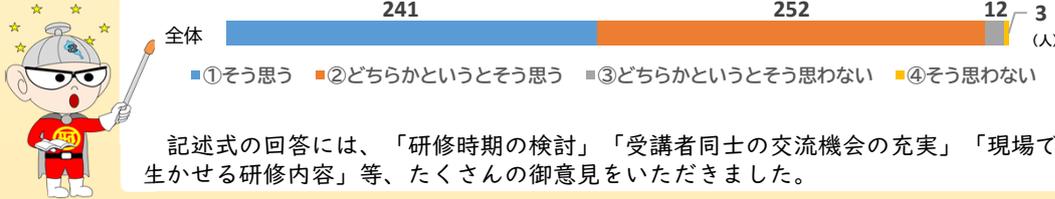
教科指導・保育指導に加えて、どのような内容の研修があれば受講したい(させたい)と思いますか。(3つまで)



総合教育センターは、今後どのような分野・内容の研究を進めていくべきだと思いますか。(3つまで)



総合教育センターの研修は、自らの成長を実感できたり、日々の職務に生かすことができたりしたと思いますか。



対象：県内の幼・小・中・高・特別支援学校等、市町教育委員会および教育研究所等の教職員
実施時期：令和6年10月～12月
回答数：508人

御協力ありがとうございました。いただきました貴重な御意見は、次年度の研修・研究に生かしていきたいと思っております。

令和6年度の研究成果を御活用ください

プロジェクト研究

小学校	不登校	児童が安心して成長できるSSRのあり方 - 「人とのつながり」「安心できる環境づくり」「周囲の理解」を軸にしたSSRの充実に向けた取組を通して-
小学校	特別活動	「なりたい自分に向けてがんばる力」を育てる小学校の特別活動 - 学級活動における個々の意思決定とそれに基づく実践の充実を通して-
小学校 中学校	校内研究	「新たな教師の学びの姿」の実現に向かう、小・中学校における校内研究のあり方Ⅱ - 児童生徒の学びの姿を見取ることを通じた教員一人一人の探究的な学び-
高等学校	理科	主体的に学習に取り組む態度を養う高等学校理科の授業改善 - 探究の過程を踏まえた授業を実践しやすくする手立てを通して-

学校派遣研究

小学校	読み解く力 国語科	児童が主体となる小学校国語科の授業づくり - 児童が自ら進んで言葉による見方・考え方を働かせ、学びを実感することを通して-
小学校	読み解く力 算数科	児童一人一人が自分の考えを数学的に表現する力の育成 - 1人1人端末を用いた学びの蓄積と活用を通して-
中学校	特別支援 教育	中学校特別支援学級の生徒の「共に学ぶ交流及び共同学習」の充実 - 生徒が持てる力を発揮するための自立活動を通して-



センター研究員が地域や学校の研修会等に伺い、発表することができます。お気軽にお問い合わせください。
TEL 077-588-2313
(学ぶ力向上係)

課題研究

小学校	外国語科	小学校外国語科における主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成 - 児童の伝えたい思いを引き出し、Input・Intake・Outputを意識した毎時間のやり取りを通して-
中学校	情報教育	デジタル・シティズンシップの育成を目指す中学校における取組のあり方 - デジタル技術の活用に焦点を当てた組織的な取組を通して-
高等学校	数学科	数学的に考える資質・能力の育成に向けた、「問題発見・解決の過程」を遂行する高等学校数学科の授業改善 - 数学的な見方・考え方を働かせた数学的活動を充実させる指導の工夫を通して-